

## 公1、収1「公園施設等の管理運営事業（貸館事業）」

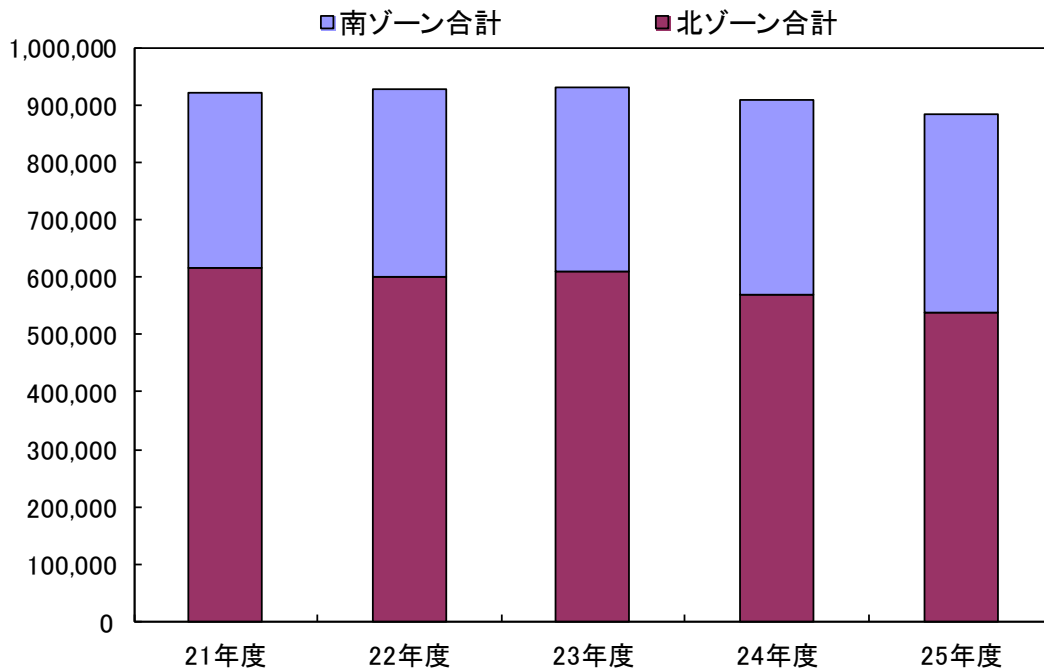
### 利用者数

平成25年度、宗像市総合公園の総利用者数は、887,775人（前年度比97.5%）となり、前年度と比較して22,593人の減少であった。内訳は以下のとおりである。

北側施設（北ゾーン）は、一般施設235,212人（同98.5%）、図書館254,387人（同91.5%）、プラネタリウム29,005人（同97.1%）、テニスコート20,875人（同89.5%）となり、北ゾーン全体では540,589人（同94.5%）と31,327人の減少となった。図書館が23,619人と大きく減少したことが主な要因だが、一般施設やテニスコートもそれぞれ減少した。

一方、南側施設（南ゾーン）では、アクアドーム利用者数は201,712人（同99.0%）、パットゴルフ4,738人（同86.4%）、ゆ〜ゆ〜プール55,477人（同101.3%）、芝生広場等85,259人（同114.6%）となり、南ゾーン全体では347,186人（同102.6%）と8,734人の増加となった。アクアドームの利用者数は、過去最高を記録した前年度の人数には届かなかったものの同水準を保った。

また、ゆ〜ゆ〜プール利用者は好調だった前年度を更に上回り55,000人を超えた。



（単位：人）

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
本館	586,362	578,619	588,681	547,026	518,770
テニスコート	26,973	24,196	23,542	23,417	20,875
プラネ(野外)	3,733	1,026	923	1,473	944
北ゾーン合計	617,068	603,841	613,146	571,916	540,589
アクアドーム	178,892	189,953	201,388	203,798	201,712
パットゴルフ	6,741	5,733	5,578	5,487	4,738
ゆ〜ゆ〜プール	43,194	52,165	50,855	54,772	55,477
芝生広場等	78,832	78,845	63,054	74,395	85,259
南ゾーン合計	307,659	326,696	320,875	338,452	347,186
利用者数合計	924,727	930,537	934,021	910,368	887,775
対前年比	101.6%	100.6%	100.4%	97.5%	97.5%

## 施設の利用率<sup>1</sup>

### ■ 3大施設の利用率

ユリックス本館の施設利用率についてみると、3大施設（イベントホール、ハーモニーホール、展示室）については、右表のようになっている。

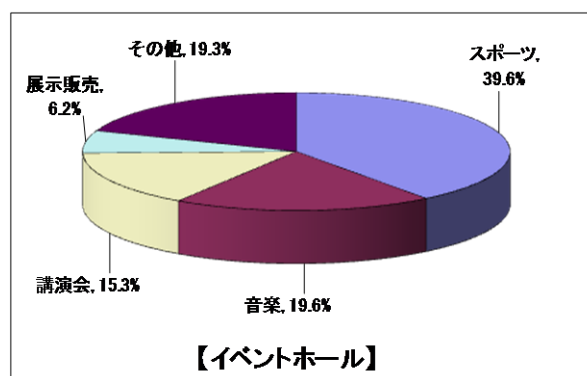
	24年度	25年度	前年度比
イベントホール	82.8%	84.1%	+1.3%
ハーモニーホール	82.5%	78.9%	-3.6%
展示室	71.1%	78.5%	+7.4%

## 施設利用の内容

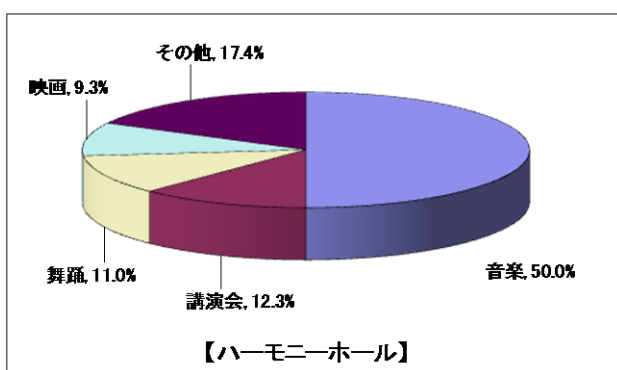
本館3大施設の利用内容別に集計すると次のとおりとなる。

イベントホールは、総件数が275件で前年度に比べ9件増加した。

利用内訳は、スポーツ39.6%、音楽19.6%、講演会15.3%、展示販売6.2%、その他19.3%となっている。前年度と比較して、スポーツ、音楽、講演会など全体的に増加しているが、特に音楽での利用が、8件増加している。



イベントホール	スポーツ	音楽	講演会	展示販売	その他	計
利用件数	109	54	42	17	53	275
利用割合	39.6%	19.6%	15.3%	6.2%	19.3%	100.0%



ハーモニーホールは、総件数236件で前年度に比べ15件減少した。

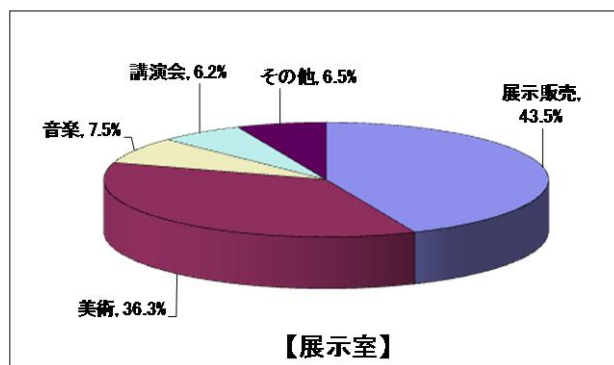
利用内訳は音楽50.0%、講演会12.3%、舞踊11.0%、映画9.3%、その他17.4%となっている。

前年度と比較して、舞踊、映画の利用が増加しているが、音楽の利用が減少している。

ハーモニーホール	音楽	講演会	舞踊	映画	その他	計
利用件数	118	29	26	22	41	236
利用割合	50.0%	12.3%	11.0%	9.3%	17.4%	100.0%

<sup>1</sup> 利用率は、開館日のうち貸出3区分（午前：9時～12時、午後：13時～17時、夜間：18時～22時）のいずれかに利用が入っている場合を100%として算出。

展示室は、利用件数が 292 件で前年度に比べ 11 件増加した。利用内訳は展示販売 43.5%、絵画などの美術展 36.3%、音楽 7.5%、講演会 6.2%、その他 6.5%となっている。前年度と比較して、展示販売、美術展、音楽、講演会が増加し、演劇、その他の利用が減少した。



展示室	展示販売	美術	音楽	講演会	その他	計
利用件数	127	106	22	18	19	292
利用割合	43.5%	36.3%	7.5%	6.2%	6.5%	100.0%

その他、会議室、和室等の貸出施設については、本館内に事務所を持つ宗像文化サークルの講座に多く利用されたほか、会社の面接会場、会議、研修や自主サークル団体の活動の場として利用された。

## その他の取り組み・施策

顧客のニーズに対応するための「夜間有料学習室」、舞台の空き区分を活用した「舞台上で気軽にピアノレッスン」などのサービスアップに取り組んでいる。

### ●夜間有料学習室

個人の勉強の場として、17:30 から 21:30 の時間帯で、1 席 100 円（7 月から 9 月、12 月から 3 月は空調代を含んで 200 円）で貸し出した。年間利用者数は 2,712 人で、前年度と比較して 227 人減少したが、売上 418 千円とお客様から高い支持を得ている。

#### <月別利用者数>

(単位：人)

月度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
利用者数	219	309	244	248	252	227
月度	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用者数	232	238	148	226	239	130

### ●舞台上で気軽にピアノレッスン

ハーモニーホールの舞台上でコンサートピアノを使った練習が 1 時間 3,000 円という料金でできるという企画である。平成 25 年度は年間 19 日間、207 利用枠に対し 100 利用枠の実績である。利用率が 48.3%(前年 47.4%)と増加した。平成 23 年 2 月からスタインウェイ製ピアノも対象としたことや案内メール配信を行なっている。

## 公 1、収 1「公園施設等の管理運営事業（施設管理）」

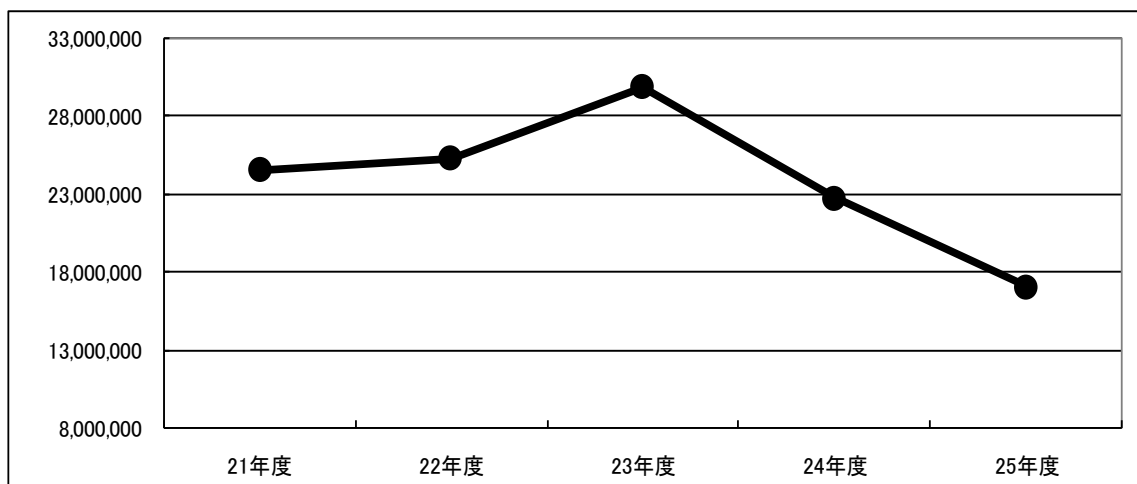
### 施設管理

本年度もお客様が安全、快適に施設を利用できるように施設管理に努めた。特に10月に実施したミアール音楽祭に向けては、駐車場P5、P6の改良やサーキットコースへの階段、側溝蓋の改修などを行った。また、植栽もメイン会場の芝生広場の整備や大掛かりな剪定などを行った。

11月と3月に実施した防災訓練においては、避難のマニュアル確認や本館内の避難誘導訓練を重点的に実施した。11月には、AED操作を含む救急救命講習もあわせて実施した。

宗像市が実施している保全工事について、本年度より第二期保全工事がスタートした。初年度は、ゆ〜ゆ〜プール大型テントの張替工事や本館の冷却塔の更新工事などを行った。

### [修繕状況]



修繕状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
修繕発生件数(件)	104	116	129	105	92
対前年度比	92.0%	111.5%	111.2%	81.4%	87.6%
対21年度比	-	111.5%	124.0%	101.0%	88.5%
修繕コスト(円)	24,594,145	25,322,627	29,923,555	22,768,586	17,056,927
対前年度比	142.4%	103.0%	118.2%	76.1%	74.9%
対21年度比	-	103.0%	121.7%	92.6%	69.4%

### [主な改修・修繕（財団実施）]

1	メタセコイア通りインターロッキング修繕工事
2	P6 駐車場階段改修工事
3	サーキットコース側溝蓋取替工事
4	パットゴルフ人工芝張替工事
5	男女更衣室カーペット張替工事

### [保全改修事業・第Ⅱ一期（宗像市実施）]

1	ゆ〜ゆ〜プール大型テント改修工事
2	本館冷却塔改修工事

平成25年度主催事業一覧

NO	月日	事業名	ジャンル	会場	主な入場料金	入場者	収入(円)	支出(円)	収支差額(円)	内容
1	4/2～ 4/21	小金井市協定記念・新市制10周年記念・宗像ユリックス25周年記念事業 中村研一特別展 「大きなクスの木の下で」美術館展Vol4	美術	展示室	入場料500円 高校生以下・ 65歳以上無料	1,980	0	0	0	中村研一が人生の後半を過ごした東京都小金井市にある「中村研一記念小金井市立はげの森美術館」が収蔵している作品を中心に展示。週末には、ワークショップやミニコンサートも開催。
2	4/13～ 4/29	大きなクスの木の下で美術館展Vol4 併催イベント 「宗像市小学生児童画展」	美術	市民ギャラリー他	無料	1,980	5,397,895	4,710,945	686,950	市民ギャラリー、展示室前通路、イベントホール前ロビーにて、宗像市内の小中学生が描いた絵画860枚を展示。小学生に文化芸術イベントに参加する喜びを感じてもらおうと共に、市民に広く美術館賞の機会を提供した。
3	4/7	宗像ユリックス開館25周年記念事業 「溝口 肇チェロコンサート」	音楽	ハーモニーホール	3,500円	421	1,296,120	2,022,265	▲ 726,145	チェリストであり作曲家でもある溝口肇のコンサート。チェロとピアノのシンプルな編成ながら、豊潤な音色と耳馴染みのある数々の名曲を演奏。前日に海の道むなかた館、ユリックス美術ギャラリーでミニコンサートも行った。
4	毎月 第二日曜	ゆりっくす日曜百円寄席(8月を除き毎月開催)	古典芸能	大和室	100円	105	145,700	229,460	▲ 83,760	日本の芸能である落語の笑いを定期的にお届けする。併せて、地域の落語家の皆様に定期的に発表の場を設け、地域文化の振興を図る。今回で64回目。
5	4/16	ユリックス名画祭2013 「幸福の黄色いハンカチ」	映画	ハーモニーホール	300円	99	35,000	410,285	▲ 375,285	宗像ユリックス開館25周年記念として、ユリックス名画祭を開催。日本、アメリカ、イタリア、の名作を一挙6本上映。4/16(火)は「高倉健、吉永小百合 銀幕スターがふたたび」をコンセプトに上映。
6	4/16	ユリックス名画祭2013 「青い山脈」	映画	ハーモニーホール	300円	104	34,700	198,290	▲ 163,590	宗像ユリックス開館25周年記念として、ユリックス名画祭を開催。日本、アメリカ、イタリア、の名作を一挙6本上映。4/16(火)は「高倉健、吉永小百合 銀幕スターがふたたび」をコンセプトに上映。
7	名画シアター開催時に実施	ロビーライブ(11回開催)	音楽	ホワイエ	無料	1,360	0	181,860	▲ 181,860	当日上映の映画の主題歌「青い山脈」や懐かしい歌を披露した。観客と一緒に歌うコーナーもありとても好評だった。
8	4/17	ユリックス名画祭2013 「マディソン郡の橋」	映画	ハーモニーホール	300円	149	49,900	315,095	▲ 265,195	宗像ユリックス開館25周年記念として、ユリックス名画祭を開催。日本、アメリカ、イタリアの名作を一挙6本上映。4/17(水)は「ロマンスと西部劇 名優イーストウッドの一日」をコンセプトに上映。
9	4/17	ユリックス名画祭2013 「許されざる者」	映画	ハーモニーホール	300円	164	55,200	193,200	▲ 138,000	宗像ユリックス開館25周年記念として、ユリックス名画祭を開催。日本、アメリカ、イタリアの名作を一挙6本上映。4/17(水)は「ロマンスと西部劇 名優イーストウッドの一日」をコンセプトに上映。
10	4/18	ユリックス名画祭2013 「ニュー・シネマ・パラダイス」	映画	ハーモニーホール	300円	116	68,200	281,810	▲ 213,610	宗像ユリックス開館25周年記念として、ユリックス名画祭を開催。日本、アメリカ、イタリアの名作を一挙6本上映。4/18(木)は「味わい深いイタリアの名画と名曲を」をコンセプトに上映。
11	4/18	ユリックス名画祭2013 「ひまわり」	映画	ハーモニーホール	300円	235	52,200	200,000	▲ 147,800	宗像ユリックス開館25周年記念として、ユリックス名画祭を開催。日本、アメリカ、イタリアの名作を一挙6本上映。4/18(木)は「味わい深いイタリアの名画と名曲を」をコンセプトに上映。
12	4/27	アン・サリー コンサート ～Spring has come～	音楽	ハーモニーホール	2,500円	563	1,305,531	2,168,622	▲ 863,091	2001年のデビュー以降、時代やジャンルの枠を超えた確かな歌唱力と、ナチュラルなライフスタイルで幅広く支持されているアン・サリーのコンサート。チケットは3月に完売となった。
13	4/28	ユリックス名画シアター 「最強のふたり」	映画	ハーモニーホール	900円	811	639,500	720,861	▲ 81,361	事故で首から下が麻痺してしまった大富豪の男と、介護役として雇われた黒人青年との交流の実話をもとに描いたヒューマン・コメディ。車いすのお客様が通常より多く見られた。
14	5/1～5/14	おりがみ作品巡回展	美術	展示室	無料	2,723	0	431,316	▲ 431,316	共通テーマ「元気にスポーツ」をイメージして、全国の子どもたちが様々な発想で作品を制作。福岡県からは自由ヶ丘南小学校学童保育所の子どもたちが制作した作品が出品された。
15	5/5	こどもの日スペシャル「かいけつゾロリ」	映画	ハーモニーホール	大人500円 子ども300円 セット券500円	550	172,700	260,010	▲ 87,310	シリーズでも特に人気の高く、最高傑作とも呼ばれる声高い名作「かいけつゾロリのだ・だ・だ・だいぼうけん！ ゆ～ゆ～プール入場券とプラネタリウム鑑賞券とのセット券を発売し、好評。

平成25年度主催事業一覧

16	5/16	名画シアター「北のカナリア」	映画	ハーモニーホール	900円	556	469,100	692,612	▲ 223,512	湊かなえの小説を原案に、日本を代表する女優吉永小百合を主演に迎え、監督・阪本順治という豪華組み合わせで描くヒューマンドラマ。
17	5/19	山本亜希子ピアノリサイタル	音楽	ハーモニーホール	2,000円	308	494,000	1,065,482	▲ 571,482	宗像市出身で、現在ヨーロッパで活躍中のピアニスト山本亜希子氏によるリサイタル。平成20年の九州交響楽団との共演に続き、今回はリサイタルでピアノソナタ「月光」など6作品を演奏した。
18	年4回開催	すくすくコンサート ～未就園児のための親子コンサート～	音楽	リハーサル室	500円	268	69,000	202,505	▲ 133,505	未就園のお子様とその保護者を対象としたコンサート。チケット発売後数日間で完売。(30組)
19	6/1～6/2	むなかた芸術祭	美術	ハーモニーホール他	0円	1,832	0	229,992	▲ 229,992	宗像市文化協会会員が、美術作品展示、盆栽展示、生け花、茶道、舞台公演(吟剣詩舞道、民謡、舞踊、音楽、三曲)を行った。
20	6/20	名画シアター「東京家族」	映画	ハーモニーホール	900円	642	511,150	704,383	▲ 193,233	巨匠・山田洋次の監督50周年記念作品。ごくありふれた一家の日常を丁寧に描き出した作品。随所に小津安二郎の「東京物語」へのオマージュ的場面がちりばめられている。
21	6/22	田部京子&矢部達哉&古川展生 ～ソロ・デュオ・トリオ!～	音楽	ハーモニーホール	2,500円	165	365,690	1,916,928	▲ 1,551,238	国内外で活躍する3人が一堂に会し、それぞれの楽器の魅力とアンサンブルの魅力伝える。2011年に開催し、好評を博し再演した。
22	7/6	ミハル・カニユカ チェロリサイタル	音楽	ハーモニーホール	2,000円	125	234,990	1,491,688	▲ 1,256,698	チェコ共和国随一の実力を誇る国際的チェリスト、ミハル・カニユカのチェロが紡ぎ出す柔らかな響きで、多くの方が癒された。
23	7/7	春風亭小朝独演会	古典芸能	ハーモニーホール	3,500円	532	1,907,000	1,853,464	53,536	落語会を牽引する名手のひとり春風亭小朝の音楽を聴いているようなリズム感のある高座は多くのお客様を落語の世界に引き込んでいた。
24	7/7	第33回 むなかた吹奏楽祭	音楽	イベントホール	無料	2,000	0	145,680	▲ 145,680	宗像市吹奏楽協会の各会員団体及びその趣旨に賛同する近隣の団体の発表会。宗像市と近郊の中学校、高校の吹奏楽及び社会人の吹奏楽団、18団体出演。
25	7/18	名画シアター「草原の椅子」	映画	ハーモニーホール	900円	415	328,500	600,861	▲ 272,361	芥川賞作家の宮本輝がシルクロード6,700キロの旅を経て執筆した同名小説を映画化。異国への旅立ちを通して、4人の傷ついた心が再生していく姿を描く。
26	7/20	劇団飛行船マスクプレイミュージカル 「7ひきのこやぎと狼」	演劇	ハーモニーホール	2,000円	655	1,098,320	1,842,617	▲ 744,297	原作の素晴らしさを大切に、さらに分かりやすく、面白くなった劇団飛行船のマスクプレイミュージカルは子どもだけでなく家族みんなが楽しんでいた。
27	7/23～8/4	第11回 郷土の美術家展 工芸部門 「8人の作家たち」	美術	展示室	200円	573	100,200	513,937	▲ 413,737	宗像市美術協会工芸部門の8人の作家による作品展。陶芸、木工芸、革工芸、染色、フリー刺繍など、技法や素材もバラエティー豊かな作品を一堂に展示した。
28	8/4	「音楽の絵本」第7巻 ～JIVE～ 家族で楽しい!ジャズコンサート!	音楽	ハーモニーホール	3,000円	1,004	1,795,800	3,013,379	▲ 1,217,579	宗像ユリックスで7回目となる今回の公演は、ジャイブバージョン。動物たちが奏でるユーモアたっぷりの演奏は、子どもたちを音楽の世界へ引き込んだ。
29	8/11	映画「ふるさとがえり」とトークショー	映画	ハーモニーホール	1,000円	250	59,000	103,700	▲ 44,700	これまで全国600ヶ所以上で市民による自主上映会が開催されている映画「ふるさとがえり」。「ふるさとむなかた」について考えるトークセッションも行われた。
30	8/17	やなせたかしシアター「ハルのふえ」 同時上映「アンパンマンが生まれた日」	映画	ハーモニーホール	500円	609	202,400	318,850	▲ 116,450	「それいけ!アンパンマン」シリーズで知られる絵本作家やなせたかしの同名作をアニメーション映画化。タヌキの母親と人間の子ども「愛情と絆」を描く。「やなせたかしシアター」と題して、「アンパンマンが生まれた日」と同時上映。

平成25年度主催事業一覧

31	8/17~9/1	中村研一特別展Ⅱ 「大きなクスの木の下で 美術館展Vol.5」	美術	展示室	300円	634	-	-	-	春に開催した「中村研一特別展」の続編。今回の展示では、現存する貴重な資料から、偉大な画業を残した中村研一とその父や妻、弟・琢二など家族との深い関わり合いに焦点を当てた。
32	8/18~8/30	中村研一特別展Ⅱ 併催イベント 作品展示 & ワークショップ	美術	市民ギャラリー	無料	500	-	-	-	九産大芸術学部美術学科「わ翔会」が作品を展示、消しゴムハンコなどのワークショップも行った。
33	8/22	名画シアター「アルゴ」	映画	ハーモニーホール	900円	230	154,500	467,340	▲ 312,840	第85回アカデミー賞作品賞、脚色賞、編集賞受賞 CIA史上、もっともありえない人質救出作戦は、「映画製作」だったという実話を元にした前代未聞の救出ストーリー。
34	9/14	ベニシア・スタンリー・スミス講演会「心の声を聴きましょうⅡ」	その他	ハーモニーホール	2,000円	610	1,257,445	769,520	487,925	現在、NHK エテレでアンコール放送中の「猫のしっぽカエルの手」に出演のベニシア・スタンリー・スミス (Venetia Stanley-Smith) 講演会。昨年に引き続き完売となった。
35	9/19	名画シアター「舟を編む」	映画	ハーモニーホール	1,000円	551	438,700	741,842	▲ 303,142	2012年本屋対象第1位に輝いた三浦しん原作の大ベストセラー、感動の映画化！ 辞書という【舟】を編集する【編む】人たちの言葉と人への愛を描いた感動エンターテインメント。
36	9/21	ブルガリア・カザンラック民族舞踊団	音楽	ハーモニーホール	2,000円	550	166,321	234,460	▲ 68,139	宗像ユリックス10回記念公演。ブルガリア・カザンラック地方の有名なバラ祭りをテーマにした踊りなど、10回記念にふさわしい公演となった。また、2013年カザンラック市バラの女王が特別登場するなど、見どころ満載だった。
37	9/22	DRUM TAO 20周年記念舞台作品 「火の鳥ー祝祭ー」	音楽	イベントホール	6,000円	939	4,852,300	4,749,371	102,929	世界20ヶ国、400都市、観客動員数550万人を超える驚異のドラマ・アート・パフォーマンス「TAO」の宗像公演。今年で結成20周年を迎えた、日本を代表する最新かつ最上の舞台芸術で観客を魅了した。
38	9/26	音楽映画上映 ①「別れの曲」②「オーケストラの少女」	映画	ハーモニーホール	500円	356	22,400	0	22,400	宗像ミアーレ音楽祭開催記念 音楽を映画で楽しもう！と題して音楽を題材とする映画2本を上映。映画の上映の間にミニコンサートを行った。
39	10/5~10/6	第33回むなかた文化祭	その他	展示室	無料	250	192,640	761,950	▲ 569,310	市文化協会と一般団体が日ごろの成果を発表。各団体の花アート、陶芸を一般展示。
40	10/6	第33回むなかた文化祭	その他	ハーモニーホール	その他	550	-	-	-	一般舞台部門(大正琴、フラダンス、吹奏楽)
41	10/6	第33回むなかた文化祭	その他	ハーモニー	無料	62	-	-	-	謡曲協会「第50回 宗像市謡曲大会」
42	10/12~10/13	宗像ミアーレ音楽祭 響きわたれ！音楽の風	音楽	北ゾーン各所	無料	2,175	30,943,319	60,985,530	▲ 30,042,211	市民ステージ「ホワイエ9ステージ、古墳広場10ステージ、中庭8ステージ、レストラン アンダンテ6ステージ」 計40ステージ実施
43	10/12	宗像ミアーレ音楽祭 響きわたれ！音楽の風	音楽	ハーモニー	500円	890	-	-	-	ワンコインコンサート ①九州交響楽団・白石光隆 ②持松朋世リサイタル(Pf白石光隆) ③オリタノボッタ・東海大学付属第五高等学校・九管サクソフォン
44	10/12	宗像ミアーレ音楽祭 響きわたれ！音楽の風	音楽	芝生広場	1,000円	7,631	-	-	-	九州交響楽団inユリックス～野外で楽しむポップス&クラシック～芝生広場特設ステージにて開催。ゲスト岡本知高・平原綾香
45	10/13	宗像ミアーレ音楽祭 響きわたれ！音楽の風	音楽	イベントホール	無料	4,000	-	-	-	楽器で遊ぼう音のミュージアム 30種類133個の楽器を体験できるイベント

平成25年度主催事業一覧

46	10/13	宗像ミアーレ音楽祭 響きわたれ！音楽の風	音楽	ハーモニー ホール	500円	711	-	-	-	九管ポップスファミリーコンサート 九州管楽合奏団によるファミリーコンサート
47	10/16~ 10/27	県展 宗像ブロック展	美術	展示室	200円	840	139,000	666,956	▲ 527,956	福岡県美術展覧会の巡回展。日本画・洋画・書・写真部門の入賞作品と宗像地区の入選者作品、また、同地域の福岡県美術協会員出品作品を展示。前期は日本画と書、後期は洋画と写真を展示
48	10/20	第15回むなかたこども芸術祭	その他	ハーモニー ホール	500円	753	532,021	516,922	15,099	演劇、日本舞踊、バトントワリング、そして創作ダンス。子どもたちが全身で表現する「むなかたこども芸術祭」
49	10/27	第33回むなかた文化祭	その他	ハーモニー ホール	無料	212	-	-	-	①三曲協会「箏・三絃・尺八」 ②吟剣詩舞道協会「古今の名詩に親しむ」
50	10/31	名画シアター 「カルテット！人生のオペラハウス」	映画	ハーモニー ホール	900円	390	336,000	232,882	103,118	宗像ミアーレ音楽祭にあわせ音楽を題材にした映画を上映。
51	11/7	小学4年生 芸術鑑賞モデル事業 「金聖響・九州管楽合奏団」	音楽	ハーモニー ホール	無料	1,041	5,300,000	5,292,223	7,777	宗像市文化芸術のまちづくり10年ビジョンの重点プロジェクトのひとつで、宗像市の子どもたちが小学生のうちに本物の芸術を鑑賞、体験する機会を創出するための事業。本物の指揮者とプロの演奏に児童、先生共に大変高い評価をうけた。
52	11/9	第33回むなかた文化祭	音楽	ハーモニー ホール	無料	741	-	-	-	民謡協会「民謡公演」 音楽協会「むなかた音楽祭2013」
53	11/9~ 11/10	第33回むなかた文化祭	その他	展示室他	無料	1,109	-	-	-	盆栽協会「伝統と創造の結晶」秋の盆栽展 華道協会「秋のいけばな展」 茶道協会「秋の茶会」(10日のみ)茶会は二席1,000円
54	11/10	第33回むなかた文化祭	その他	ハーモニー ホール	無料	472	-	-	-	舞踊協会「むなかた秋の踊り」
55	11/16	名画シアター 「王になった男」	映画	ハーモニー ホール	900円	458	363,400	561,405	▲ 198,005	韓国のアカデミー賞、第49回大鐘賞で最優秀作品賞など過去最多となる主要15部門を制覇。李氏朝鮮時代に実在した王をモチーフに、歴史に葬られた15日間を追う歴史大作。
56	11/20~ 11/24	第33回むなかた文化祭	美術	展示室	無料	450	-	-	-	美術協会「秋の美術展」
57	11/23	小曾根真 「JAZZ PIANO SOLOCONCERT」	音楽	ハーモニー ホール	4,000円	534	2,010,945	3,380,792	▲ 1,369,847	世界を舞台にジャンルにとらわれない幅広い音楽活動で、常に注目を集めるピアニスト・小曾根 真の2年ぶりの宗像ユリックスソロコンサート。
58	年3回開催	九管クリニック	音楽	イベント ホール他	1,000円	538	482,000	1,059,441	▲ 577,441	九州管楽合奏団楽団員による楽器クリニック(奏法指導)。トランペット、クラリネット、サクソフォンなど楽器ごとに分かれてのレッスン。多数の中学生、高校生の吹奏楽部員で賑わった。
59	12/1	千住真理子&スーク室内オーケストラ クリスマスコンサート	音楽	ハーモニー ホール	4,000円	477	1,966,120	3,613,822	▲ 1,647,702	ヴァイオリンの名手・千住真理子が、音楽の都チェコ・プラハが誇る名門合奏団・スーク室内オーケストラと共に贈る、クリスマス・コンサート
60	12/12	名画シアター 「はじまりのみち」	映画	ハーモニー ホール	900円	311	236,300	607,874	▲ 371,574	「二十四の瞳」などさまざまな傑作を世に送り出し、日本映画の黄金期を築いた木下恵介監督の生誕100年記念作。





平成25年度いきいき出前コンサート(アウトリーチ)実施一覧

	開催日	会場	出演者	観覧者数
1	4/6	海の道むなかた館	溝口肇(チェロ)	60
2	4/6	美術ギャラリークスの木展	溝口肇(チェロ)	60
3	5/21	大島小中学校	山本亜希子(ピアノ)	76
4	5/21	日の里東小学校	山本亜希子(ピアノ)	58
5	7/2	日の里東保育園	九管パーカッションアンサンブル	176
6	7/2	野ばら第二保育園	九管パーカッションアンサンブル	115
7	7/4	日の里幼稚園	九管パーカッションアンサンブル	248
8	7/4	野ばら保育園	九管パーカッションアンサンブル	110
9	7/11	南郷小学校	白石光隆(ピアノ)	36
10	7/11	福岡教育大学	白石光隆(ピアノ)	37
11	7/12	玄海小学校	白石光隆(ピアノ)	41
12	7/12	玄海東小学校	白石光隆(ピアノ)	34
13	7/16	玄海ゆりの樹幼稚園	九管パーカッションアンサンブル	210
14	7/18	浄徳寺幼稚園	九管パーカッションアンサンブル	313
15	7/18	日の里西保育園	九管パーカッションアンサンブル	96
16	7/19	海の道むなかた館	九管パーカッションアンサンブル	150
17	7/20	玄海地区コミュニティセンター	ザ・ドリームバンド	100
18	7/23	赤間保育園	九管パーカッションアンサンブル	170
19	7/23	平等寺保育園	九管パーカッションアンサンブル	134
20	7/25	玄海風の子保育園	九管パーカッションアンサンブル	91
21	7/25	恵愛保育園	九管パーカッションアンサンブル	156
22	8/24	池野コミセン	九州交響楽団弦楽四重奏	75
23	8/24	海の道むなかた館	九州交響楽団弦楽四重奏	55
24	8/26	博多のびっこ幼稚園	九管パーカッションアンサンブル	225
25	8/28	宗像市役所ロビー	九州交響楽団弦楽四重奏	150
26	8/28	宗像ベテル クリスマスセンター	九州交響楽団弦楽四重奏	26
27	8/29	大島小中学校	九州交響楽団弦楽四重奏	63
28	8/29	宗像医師会病院	九州交響楽団弦楽四重奏	107
29	8/31	河東コミセン	二羽正行(ピアノ)、富田沙織(サクソ)	90
30	9/1	東郷コミセン	二羽正行(ピアノ)、富田沙織(サクソ)	110
31	9/2	宗像市議会 議場	九管パーカッションアンサンブル	120
32	9/5	吉武コミセン	二羽正行(ピアノ)、富田沙織(サクソ)	58
33	9/11	シャングリラ	二羽正行(ピアノ)、松木陽介(サクソ) 富田沙織(サクソ)	80
34	9/12	まりし病院	二羽正行(ピアノ)、松木陽介(サクソ) 富田沙織(サクソ)	60
35	9/16	城山山頂1回目	九州管楽合奏団サクソフォンチーム	300
36	9/16	城山山頂2回目	九州管楽合奏団サクソフォンチーム	200
37	9/16	グローバルアリーナ	九州管楽合奏団サクソフォンチーム	500
38	9/18	東海大学付属自由ヶ丘幼稚園	九管パーカッションアンサンブル	151
39	9/18	地島小学校・地島ゆりの樹幼稚園	九管パーカッションアンサンブル	40
40	9/19	赤間くるみ幼稚園	九管パーカッションアンサンブル	232
41	9/19	西海保育園	九管パーカッションアンサンブル	202
42	9/21	玄海風の子保育園 キャンドルナイトコンサート	九管パーカッションアンサンブル	80
43	9/23	ザビエル聖堂	緒方愛子(ヴァイオリン)、家永玲於(チェロ)	126
44	9/27	津屋崎保育園	持松朋世(ソプラノ)、山本佳代子(ピアノ)	85
45	9/27	宮田保育園	持松朋世(ソプラノ)、山本佳代子(ピアノ)	111
46	9/28	城山庵	持松朋世(ソプラノ)、山本佳代子(ピアノ)	57
47	9/28	カーサ・フェリーチェ	持松朋世(ソプラノ)、山本佳代子(ピアノ)	88
48	9/28	大島ハーフマラソン 開会式ステージ 10k開会式	Acht Line(アコースティックユニット)	300
49	9/28	大島ハーフマラソン 開会式ステージ ハーフ開会式	Acht Line(アコースティックユニット)	700
50	9/29	メイトム宗像 結工房	緒方愛子(ヴァイオリン)、古賀美代子(ピアノ)、中村充(チェロ)	60
51	9/30	北斗の水くみ公園	九管パーカッションアンサンブル	800
52	10/5	地域支援活動センター 陽だまり	iKuri(カホン・二胡・ピアノ)	40
53	10/21	ナカマル醤油醸造元	緒方愛子(ヴァイオリン)、家永玲於(チェロ)	66
54	11/11	東郷信愛幼稚園	九管パーカッションアンサンブル	248
55	11/17	自由ヶ丘南小学校	緒方愛子(ヴァイオリン)、(ピアノ)	200
56	11/21	ひかり保育園	九管パーカッションアンサンブル	130
57	11/21	第二赤間保育園	九管パーカッションアンサンブル	120
58	11/30	南郷地区コミュニティ・センター	九管パーカッションアンサンブル	60
59	12/2	日の里地区コミュニティセンター	二羽正行(ピアノ)、松木陽介(サクソ) 富田沙織(サクソ)	60
60	12/4	福岡教育大学附属幼稚園	九管パーカッションアンサンブル	176
61	12/19	いきいき出前コンサート 発達支援センター のぞみ園	九管パーカッションアンサンブル	60
62	12/21	いきいき出前コンサート 赤間病院ロビー	福岡教育大学芸術課程音楽コース大学院生	60
63	1/12	いきいき出前コンサート 東郷地区コミュニティセンター	緒方愛子(ヴァイオリン)、崎野光暉(ピアノ)	180
64	1/12	いきいき出前コンサート 玄海地区コミュニティセンター	二羽正行(ピアノ)、富田沙織(サクソ)	70
65	1/12	ラディア宗像	二羽正行(ピアノ)、富田沙織(サクソ)	60
66	2/12	宗像医師会病院 地域医療センター3階講堂	白石光隆(ピアノ)	50
67	2/12	東海大学付属第五高等学校 音楽室	白石光隆(ピアノ)	35
68	2/13	障害者支援施設むなかた苑 多目的ホール	白石光隆(ピアノ)、持松朋世(ソプラノ)	68
69	2/13	特別養護老人ホーム むなかた こもれびホール	白石光隆(ピアノ)、持松朋世(ソプラノ)	120
70	3/1	メイトム春まつり 福岡教育大学音楽専攻ステージ	福岡教育大学芸術課程音楽コース学生 & 音楽教育コース大学院生 & 音楽教育講座教員	180
				9,705

## 収 2 「利用者サービス事業」

### 取り組み・施策

この事業は、公園内に設置している自動販売機による飲食物販売やアクアドーム、ゆ〜ゆ〜プールでの物品販売及び飲食物販売、イベント時の物品販売、受付での消耗品販売など施設利用者の利便性に資するために行っている。

#### ●自動販売機設置事業

利用者に飲食物の便宜を供するために自動販売機を設置しており、15～35%を手数料としている。平成 25 年度は 4,468 千円の手数料収入を得ており、今後も設置台数を増やすなどサービスの向上に努めていく。

#### ●物品等販売事業

雨傘や書籍、切手、飲食物等の便宜を供するために販売事業を行っており、平成 25 年度は 1,361 千円の販売収入を得た。

今後も顧客のニーズに対応するために新しいサービスを模索していく。

## 公2「文化芸術振興事業（文化事業）」

### 文化事業／総括

平成25年度主催事業として、古典芸能6、クラシック9、音楽7、演劇2、映画16、美術3、アウトリーチ70、その他事業12、合計125事業を実施した。

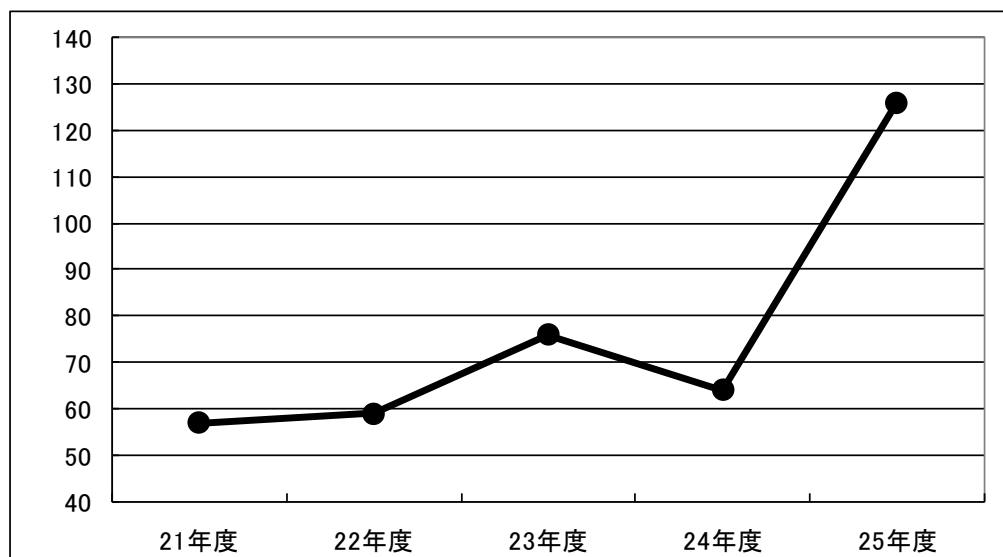
平成25年度は、宗像ユリックス開館25周年、宗像市新市制10周年にあたることから、記念イベントとして大規模な音楽祭を開催した。市民が身近に音楽に親しみ、興味を持ち、また音楽祭に参加し、もって音楽文化の推進を図ることを目的として実施した。アウトリーチ事業を含めると、総入場者数24,176人、運営を支えた市民ボランティア400人と予想をはるかに超え、地域の人々の共感と参加を得た事業であり、広く市民に宗像ユリックスの今後の方向性を示すことができた。

また、「年忘れ大爆笑！全国アマ落語名人会」や「古澤巖鎮国寺奉納公演」、「神田紅独演会」、「大きなクスの木の下で美術館展～中村研一特別展～」など宗像ユリックスらしい事業も積極的に展開した。「文化芸術のまちづくり10年ビジョン」についても、「小学4年生芸術鑑賞モデル事業」や「地域での芸術鑑賞モデル事業」などを計画的に実施した。

#### [ 事業本数・ジャンル別 ]

(単位：本)

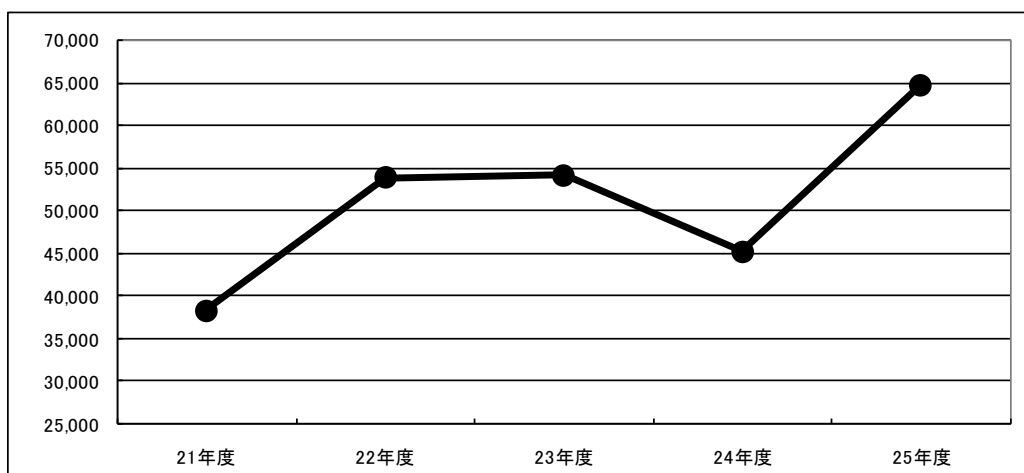
事業ジャンル	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
音楽(クラシック)	8	9	11	9	9
音楽(クラシック以外)	4	5	9	6	7
映画	18	13	16	13	16
演劇・古典芸能	13	9	10	8	8
美術	3	4	3	1	3
アウトリーチ	6	6	18	15	70
その他	5	13	9	12	12
合計	57	59	76	64	125
対前年比	95.0%	103.5%	128.8%	84.2%	195.3%
対21年度比	—	103.5%	133.3%	112.3%	219.3%



[ 入場者数 ]

(単位：人)

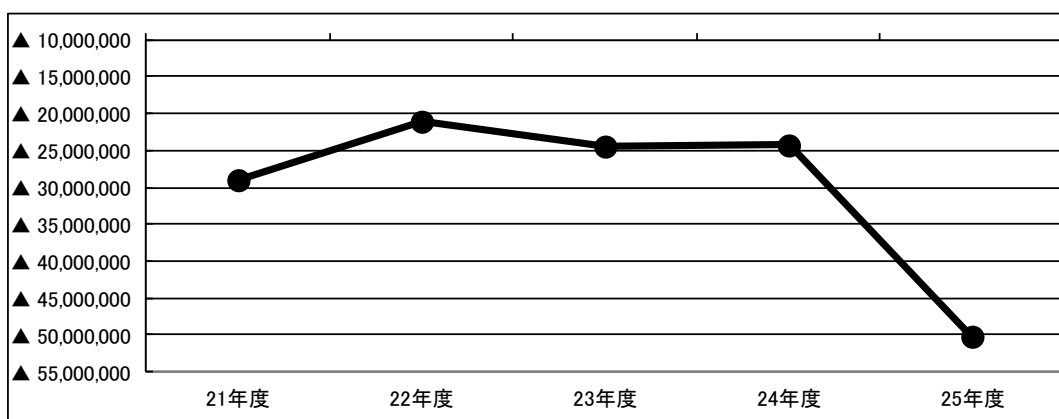
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
入場者数	38,295	53,798	54,110	45,497	64,700
対前年比	87.2%	140.5%	100.6%	84.1%	142.2%
対21年度比	—	140.5%	141.3%	118.8%	169.0%



[ 収支状況 ]

(単位：円)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
収入	52,163,911	48,751,007	53,139,055	39,787,520	83,313,635
支出	81,160,443	69,801,776	77,565,719	64,062,541	133,567,428
収支差額	▲28,996,532	▲21,050,769	▲24,426,664	▲24,275,021	▲50,253,793
対前年比	111.5%	137.7%	86.2%	100.6%	48.3%
対21年度比	—	72.6%	84.2%	83.7%	173.3%



※収入＝文化事業費収入 - 文化事業共通収入 - チケット販売手数料収入

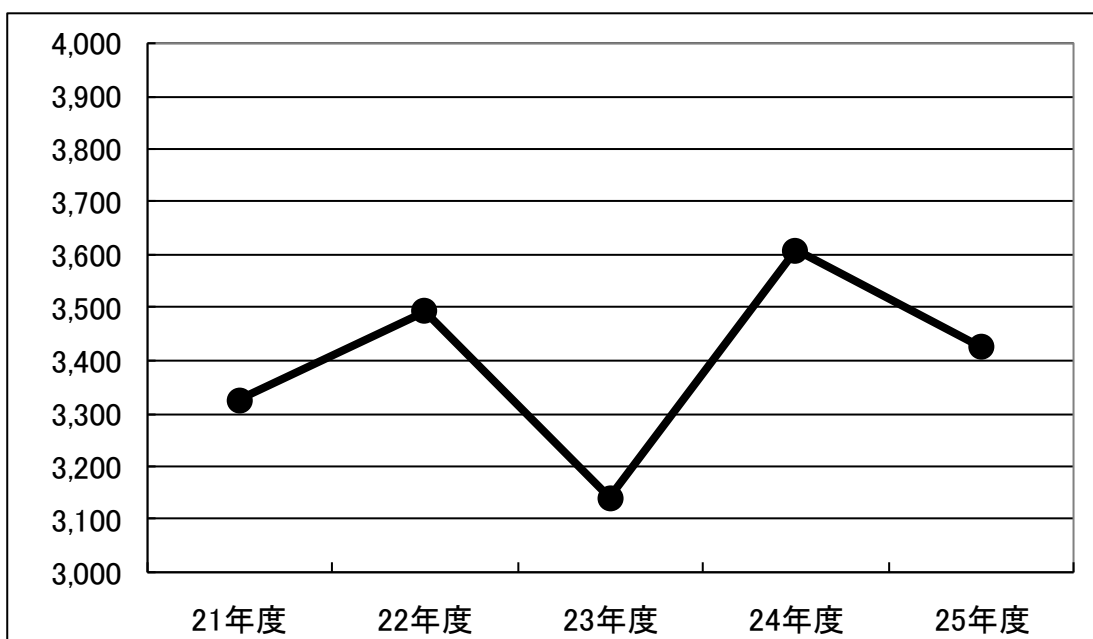
支出＝文化事業費支出 - 給与手当支出 - 賃金支出（当日アルバイト除く）文化事業共通支出

[ ユリックス倶楽部（友の会）事業 ]

平成 25 年のユリックス倶楽部会員数は、3,426 人となった。前年と比較し 183 人の減となった。

(単位：人)

	21 年度	22 年度	23 年度	24 年度	25 年度
会員数	3,326	3,494	3,140	3,609	3,426
対前年比	93.6%	105.1%	89.9%	114.9%	94.9%
対前年人数	△ 227	167	△ 354	469	△ 183
対 21 年度比	—	105.1%	94.4%	108.5%	103.0%



[ ユリックス倶楽部入会特典について ]

●ユリックス倶楽部特典 □年会費 継続 1,500 円 新規 2,000 円

☆一般発売よりも 7 日早くチケット購入。

☆託児サービスが無料。(通常 1,000 円)

☆ユリックス主催のチケット割引。2,500 円 (500 円×5 枚) 分

☆倶楽部会員招待事業の無料チケット進呈。(※通常料金 2,500 円相当)

☆毎月、情報誌「ユリックス・サラダ」をお届け。(宗像・福津・宮若市以外)

☆アクアドーム、パットゴルフ、プラネタリウム、ゆ〜ゆ〜プールが割引料金で利用可。

☆貸出対象地区以外の方にも図書の出借。

☆宗像文化サークルの入会金 500 円引き。

## 主催事業・ジャンル別

### (1) 宗像ミアーレ音楽祭～響きわたれ！おんがくの風～

事前のいきいき出前コンサート(56回)に加え、10月12日(土)～13日(日)の2日間で下記事業を行った。

事業名称	出演者	入場者数
ワンコインコンサート(12日) 白石光隆と丸響が紡ぐ 神童モーツァルトの世界 【ハーモニーホール】	指揮：飯森範親 ピアノ：白石光隆 管弦楽：九州交響楽団	296人
ワンコインコンサート(12日) 持松朋世ソプラノリサイタル 【ハーモニーホール】	ソプラノ：持松朋世 ピアノ：白石光隆	179人
ワンコインコンサート(12日) 吹奏楽ステージ 【ハーモニーホール】	サクソフォン：オリタノボッタ 九管サクソフォンセクション 宗像高校吹奏楽部 東海大学付属第五高校吹奏楽部	415人
九州交響楽団 IN ユリックス (12日) 【芝生広場特設会場】	指揮：飯森範親 ソリスト：岡本知高 ソリスト：平原綾香 管弦楽：九州交響楽団	7,631人
九州管楽合奏団 ファミリーコンサート(13日) 【ハーモニーホール】	指揮：鈴木徹平 司会&歌：中村萌子 演奏：九州管楽合奏団	午前の部 395人 午後の部 316人
市民ステージ (12日～13日) 【ホワイエ・中庭・古墳広場】	市内音楽団体などで40回実施	2,175人
楽器体験 【イベントホール】	市内音楽団体の協力を得て実施	4,000人
いきいき出前コンサート 7月20～12月4日の期間で市内 各所56カ所で実施	・九州交響楽団メンバーによる 弦楽四重奏 ・九州管楽合奏団パーカッション チーム ・白石光隆・持松朋世他	8,628人
プラネタリウム	・ほしぞらクレヨン★ ・リラクセーションプログラム	141人
入場者数合計		24,176人

#### 【事業の成果】

- ・生演奏に触れる機会を通じた広く市民への音楽文化の浸透
- ・継続的な文化芸術活動による鑑賞機会の確保とそれを支える仕組みづくり
- ・人材の養成と交流による市民文化活動の活性化

## 【運営体制】

「宗像ミアーレ音楽祭～響きわたれ！おんがくの風」実行委員会を組織し、下記 8 部会を設置し運営を行った。（平成 25 年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業「活動別支援」補助事業）

- ・プロ公演部会 ・アウトリーチ部会 ・アマ公演部会 ・市民参画部会
- ・出店花火部会 ・交通部会 ・広報部会 ・会場整理部会

また、チケットの販売や市内各所からユリックスまでの無料シャトルバスによる来場手段の構築などにおいて地域のコミュニティ協議会からの多大な協力を頂き、音楽祭を成功へ導くことができた。

## 【画像】

九州交響楽団 in ユリックス



ワンコインコンサート(白石光隆)



九管ポップスファミリーコンサート



楽器体験



市民ステージ(ホワイエ)



市民ステージ(古墳広場)





## (1) クラシック事業

『山本亜希子ピアノリサイタル』、『ミハル・カニューカチェロリサイタル』、『音楽の絵本』、など9事業を実施した。'Four of the Best' 最高の四人組とも称される「フィルハーモニア・カルテットベルリン」を実施するが、入場者数は低迷。弦楽四重奏やクラシックに対してお客様の持つ、「難しい」、「楽しくない」というイメージを払拭する広報・事業展開を今後心がけていく。

開館 25 周年記念事業として「千住真理子&スーク室内オーケストラクリスマスコンサート」を開催。バッハ/グノーのアヴェ・マリアやチャイコフスキーの弦楽セレナード等の名曲の数々を弦の国チェコの上質のアンサンブルでお届けし好評であった。

また、3月2日(日)にアウトリーチや九響宗像公演のソリストを務め、宗像ユリックスと馴染み深いピアニスト白石光隆によるソロリサイタルを始めて実施した。自治総合センターの助成を受け、「音楽講座」と「いきいき出前コンサート」にも取り組んだ。次年度以降も継続・発展させていく。

音楽の絵本



白石光隆 春を呼ぶおしゃべりコンサート  
終了後のサイン会



フィルハーモニア・カルテットベルリン



千住真理子&スーク室内オーケストラ



## (2) 音楽事業（クラシック以外）

『溝口肇チェロコンサート』、『アン・サリーコンサート』、『小曽根真ソロリサイタル』など9事業を実施した。また共催事業としてイベントホールで実施した『松山千春コンサートツアー』はチケット完売となった。また、『古澤巖 LIVE UNDER THE TREE 奉納公演』を鎮国寺で開催。短期間でチケット完売となった。



## (3) 九州管楽合奏団

定期演奏会 『九管ポップスファミリーコンサート』『小学4年生芸術鑑賞モデル事業』の2事業を実施した。

学校公演 11月に『赤間小学校』で実施した。

クリニック 11月と3月の2回実施。受講者は278人。また、6月には、楽器クリニックに加え、日の里中学校、福岡県立宗像高校、東海大学附属第五高等学校の3校の吹奏楽部を指導する『バンドクリニック』を初めての試みとして実施し260人の入場者となった。



#### (4) いきいき出前コンサート

「ホールで生の音楽を聴きたいけど、なかなか足を運ぶことができない。」そんな方々へ、プロの演奏家が「その場所」まで出向き、「生の演奏」をお届けし、プロの演奏家による本物の音を通して、「生きる喜び」や「感動する心」、「豊かな感受性」を育むことを目的とする。

本年度は、宗像ミアーレ音楽祭に先駆け市内各所 56 ヲ所、年間を通して 70 ヲ所で実施した。

##### 【主な編成】

- ・九州管楽合奏団パーカッションアンサンブル
- ・九州交響楽団メンバーによる弦楽四重奏
- ・ピアノ&サクソフォン(二羽正行・松木陽介・富田砂織)
- ・白石光隆(ピアノ)
- ・持松朋世(ソプラノ) 等

白石光隆(東海大学付属第五高校)



九響弦楽四重奏(市役所)



ピアノ & サクソフォン(東郷コミセン)



九管パーカッションアンサンブル  
(博多のびっこ幼稚園)



## (5) 映画事業

16 作品を上映し、総入場者数 8,101 人となった。1 作品当たりの入場者数は 506 人で前年に対し、10 人の減となった。最高入場者数は「最強のふたり」の 811 人となった。

	事業本数	入場者数	1作品当り入場者数
平成23年度	16本	8,331人	521人
平成24年度	13本	6,772人	516人
平成25年度	16本	8,101人	506人
前年差異	+3本	+ 1,329人	-10人

## (6) 演劇・ミュージカル事業

『劇団飛行船 7 ひきの子やぎ』、『ブルガリアカザンラック民族舞踊団』、の 2 本の事業を実施した。

## (7) 古典芸能

『ゆりっくす日曜百円寄席』、『春風亭小朝独演会』、『うぐいす寄席』、など 6 事業を実施した。

『年忘れ大爆笑！全国アマ落語名人会』は、県内の 3 館と連携し実施。また、2013 年本屋大賞を受賞した「海賊とよばれた男」の主人公が出光佐三であり、NHK2014 年大河ドラマが「黒田官兵衛」であることを受け、タイムリーな演目で「神田紅独演会」を実施し完売となった。

倶楽部招待事業は『柳亭市馬・柳家喬太郎二人会』を、土曜 2 公演日曜 1 公演とし、入場者数 1,767 人となった。

## (8) 美術事業

美術事業は、「県展宗像ブロック展」を開催した。「大きなクスの木の下で」美術館展は、宗像市と小金井市が協定締結を行ったこともあり、小金井市立はげの森美術館が所蔵する作品を中心とした中村研一特別展を平成 25 年 4 月に実施した。また、8 月にも中村研一特別展 PART II を開催し、絵画作品に限らず中村研一が作陶した作品や学生時代の記録資料等を展示し、本人のひとつとなりが窺い知ることができる美術展となり、複数回のギャラリーコンサートも好評。

## (9) 宗像市との連携事業

平成 22 年度より文化行政 4 事業を実施しており、各事業の入場者数は、『むなかた芸術祭』1,832 人、『むなかた吹奏楽祭』2,000 人、『むなかた文化祭』3,000 人、『むなかたこども芸術祭』753 人となった。

「宗像市文化芸術のまちづくり 10 年ビジョン」の具体的な取り組みとして、「小学 4 年生芸術鑑賞モデル事業」を行った。これは小学生に本物の文化芸術を鑑賞する機会を提供するものであり、23 年度より『九州管楽合奏団（指揮：金聖響）』で実施している。九州管楽合奏団の団員が各学校を事前に訪問し、マナー等をレクチャーするなどの工夫を行った結果、非常に高い評価を受け、次年度の開催も決定。

小学4年生芸術鑑賞モデル事業 楽団員による事前レクチャー



小学4年生芸術鑑賞モデル事業 九州管楽合奏団（指揮：金聖響）



## (10) その他

東京・渋谷にある「こどもの城」主催、「おりがみカーニバル全国児童館おりがみ作品巡回展」を開催した。「宇宙」をテーマに全国の子どもたちが作成したおりがみ作品 31 点が全国を巡った。福岡からは河東西小学校学童保育所「いきいきクラブ」が「ファンタジースペース宗像」をテーマに作成し展示した。

また、9月14日に『ベニシア・スタンリースミス講演会』を開催した。前年に続き2回目の開催であったが、チケットは数日で完売となった。

ロビーライブは、映画上映の間の時間を利用して、年間11回実施し鑑賞者数1,360人となった。合唱やアコーディオン演奏などジャンルも様々で、名画シアターの魅力のひとつとなっている。

## 後援事業

地域における文化の振興と文化団体の育成を目指し、後援事業を積極的に行っている。

( 共催 1 件、後援 4 件、協力 2 件)

## PR事業

### ■ユリックス・サラダ

情報誌『ユリックス・サラダ』の発行部数は、71,250部(宗像市広報 33,300部 福津市広報 21,400部 宮若市 12,400部 その他 4,150部)。

宗像地区への全戸配布のほか、宗像地区以外のユリックス倶楽部会員、マスコミ各社、JR九州鹿児島本線沿線駅、近隣文化施設などに送付した。『ユリックス・サラダ』は当館の情報発信の要であり、内容の精査と配布箇所の見直しを継続的に実施する。

### ■マスメディアの活用

主催事業の中で事業効率を上げるために必要と思われるイベントについては、TV局ラジオ局に名義共催を依頼し、スポットCMを流すなど販売促進につなげるようにした。

また、新聞広告、情報専門誌などに各公演の発売前に「プレス資料」を作成し、掲載を依頼するなど、活字媒体を有効に利用し、積極的に情報発信を行った。

新規取り組みとして、クロスエフエム木曜の昼の10分枠を使って、宗像ミアーレ音楽祭をはじめとしてユリックス全般の情報発信を行った。

### ■ポスター・チラシなど

ユリックス催し物の内容や開催時期をお知らせするポスター・チラシは、プレイガイドや近隣の文化施設に適宜配布し、主催事業のPRを行った。また、チラシの配布については、主催事業はもちろんのこと、ユリックスでの貸館公演の際にパンフレットに折込みを依頼した。さらに、近隣の文化会館で同じジャンルの公演が開催される際も、出向いて主催者に折込み依頼をするなどしており、これらの活動で一定の成果を得た。

### ■ダイレクトメール

ユリックスの主催事業の際に回収したアンケート情報を、事業ごとにデータ管理し、同じジャンルの公演の発売前にダイレクトメールで顧客に郵送し、販売促進に努めた。

### ■ホームページ

ユリックス情報をホームページに掲載し、適宜更新した。各施設の案内から利用料金、主催事業や貸館でのイベント情報、当館までの交通アクセスなど、さまざまな情報が満載されている。また、お客様からの声を聞く場所として『みなさんの掲示板』を設けていたが、よりの確に皆さまからのご要望にお応えするために、23年3月からご意見・ご要望をお受けする「ご意見箱」に変更した。

## 公2「文化芸術振興事業（プラネタリウム運営事業）」

### プラネタリウム総括

平成25年度のプラネタリウムの来場者数は28,676人となり、前年度より4.1%（1,211人）減となった。減少の主な原因としては、ゴールデンウィークや夏休みの天候に依存する部分が大きく、プログラムの評価など、内容については好評であった。団体の利用者数は、前年度と同様好調である。今年度は、新たにJR鹿児島本線列車内にポスターを掲出するなどの新たな広報の試みを実施した。

#### ●プラネタリウムプログラム

こども向けプログラム「ほしぞらクレヨン★」では、昨年度に続き、星空へのお絵かきやショートストーリー、クイズ、宇宙旅行など季節や星空に合わせて内容を変更し、来場者がいつも違った内容が楽しめる仕掛けを作り、リピーターの確保を目指した。

おとな向けプログラムでは、今年度は全体的に難易度の高い科学的なテーマを取り上げた。専門機関より映像資料を取り寄せたり、職員が勉強会に参加し内容を精査したりするなど取り組んだ結果、想定した年齢層よりも低い小学校低学年の来場者にも満足してもらえる内容となった。

また昨年度に引き続き、おとな向けの「リラクゼーションプログラム」を通年で実施した。未就学児の入場を不可とすることで、大人が美しい星空と繊細な音色の音楽を楽しめる環境を構築することができ、こちらも好評となっている。

こうした、特色あるプログラムを提供できるプラネタリウムは近隣にないため、これらのラインナップが「ユリックスならではの」と認識され、リピーター増に繋がってきている。

#### ●学校団体向け学習プログラム

学習プログラムとして、小学校・中学校向けの各プログラム（4種類）を実施した。今年度より、遠方の小学校への案内送付範囲を広げたり、新たに中学校に案内を送付したりするなどした結果、新規利用校を獲得することができた。今回の試みより、遠方からの来場が見込めることから、今後も送付範囲を拡大するなど、団体利用者増に向けて検討を続けていきたい。

#### ●ボランティアスタッフの活動の支援

ボランティアスタッフ（ほしぞらスタッフ）は52人の登録があり、観望会「ほしぞらウォッチング」を始めとした事業の企画・運営・補助を担ってもらっている。今年度は年5回観望会を実施した他、12月には早朝に「アイソン彗星観望会」を臨時で実施するなどした。毎回多くの来場者があるため、いかに効率よく観望会を実施するのが課題となっている。

また、12月のこども向けショートストーリー「クリスマスのおくりもの」のシナリオ制作・声の出演を行い、子どもたちが楽しめるプログラム作りを行うことができた。

#### ●その他活動

その他、夏休みに市内の小学生を対象とした工作教室を行った。今年度は地域のイベントと重なってしまったため参加者は少なかったが、参加した子どもたちには好評であった。

## プラネタリウム番組

<平成 25 年度のプログラム>

区分	プログラム内容	来場者	実施期間
おとな向け	「ハッブル宇宙望遠鏡の見た宇宙」	2,071 人	4 月 1 日～6 月 30 日
	「土星の世界」	3,912 人	7 月 1 日～9 月 30 日
	「私たちの銀河系」	1,317 人	10 月 1 日～12 月 27 日
	「宇宙 138 億年」	1,499 人	1 月 5 日～3 月 30 日
こども向け ほしぞらクイズ★	「おおぐま座のおはなし」	2,454 人	4～6 月
	「七夕のおはなし」	5,375 人	7・8 月
	「お月さまのおはなし」	2,309 人	9～11 月
	「クリスマスのおくりもの」	1,176 人	12 月
	「オリオン座のおはなし」	2,280 人	2・3 月
リラクゼーション	「Starry Music ～image を聴きながら～」	3,449 人	4 月 1 日～3 月 30 日
学習	小学 3 年生プログラム 小学 4 年生プログラム 小学 6 年生プログラム 中学 3 年生プログラム	9 校 436 人 49 校 2,247 人 2 校 75 人 3 校 76 人	4 月 1 日～3 月 30 日

<入場料>

	区 分	個 人	団体 (30 人以上)
おとな向け リラクゼーション	4 歳以上の幼児	100 円	1 人につき 80 円
	小・中学生	150 円	1 人につき 120 円
	おとな	310 円	1 人につき 250 円
学習・こども向け	4 歳以上一律	100 円	

<開始時刻>

	11:00	13:00	14:00	15:00	16:00
平 日				おとな向け	リラクゼーション
土・日・祝	こども向け	おとな向け	こども向け	おとな向け	リラクゼーション
夏・冬・春休みの平日		おとな向け	こども向け	おとな向け	リラクゼーション

※団体受付は随時

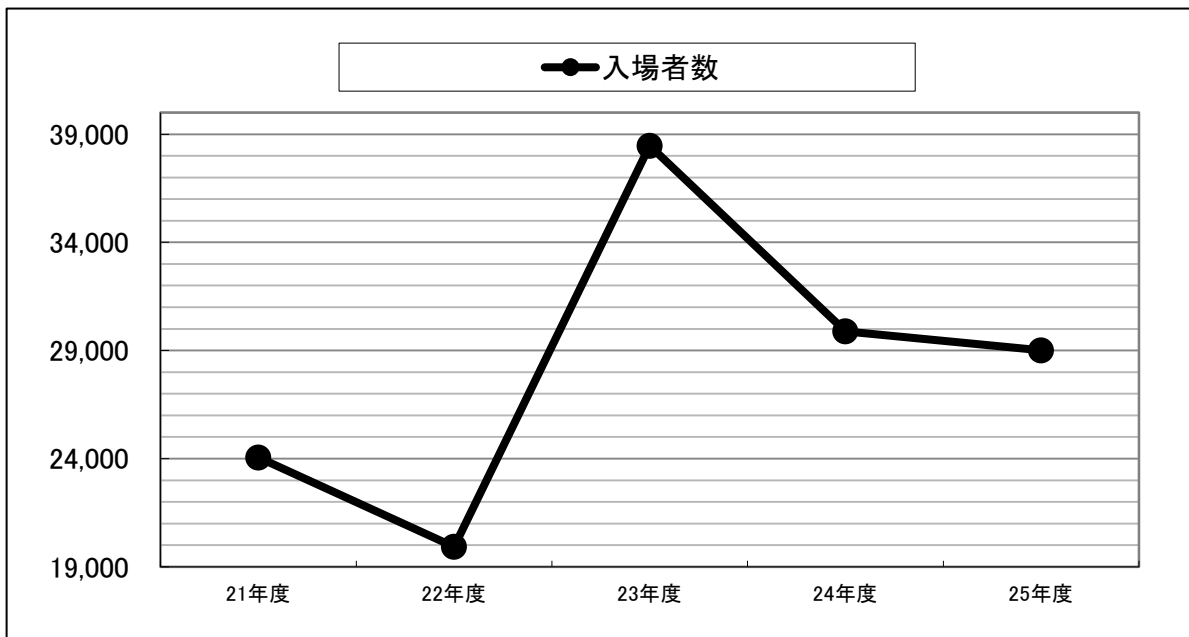


<入場者数の推移>

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
入場者数	24,051	19,925	38,465	29,887	29,005
対前年比	96.7%	82.8%	193.0%	77.7%	97.0%
対21年度比	—	82.8%	159.9%	124.3%	120.6%

※観望会等の野外を除く

※平成22年度は改修工事のため約3ヵ月間休止



<イベント実施状況>

	区分	イベント名	実施日	参加者人数
1	講座	モデルロケットを作ろう！	8月2日	4組
2	講座	第8回サイエンス・カフェ@むなかた ゲスト：吉田 道利 (広島大学 宇宙科学センター長)	12月21日	4人
3	講座	第9回サイエンス・カフェ@むなかた ゲスト：田村 元秀 (国立天文台 太陽系外惑星探査プロジェクト外室長)	2月11日	15人
4	講座	第10回サイエンス・カフェ@むなかた ゲスト：平林 久 (宇宙科学研究所名誉教授)	3月15日	15人

<観望会「ほしぞらウォッチング」>

	実施日	タイトル	解説	天体観望
1	4月21日(土)	月や惑星を見よう	54人	54人
2	5月11日(土)	土星・春の星空	95人	107人
3	6月15日(土)	水星	—	90人
4	8月10日(土)	三日月・土星・夏の星空	165人	220人
5	9月15日(土)	お月見	—	130人
6	12月7日(土)	アイソン彗星	—	30人
合計			314人	631人

※平成21年度から、「ほしぞらスタンプカード」を実施。

金賞(パーフェクト5回参加)31人・金賞(4回参加)7人・銅賞(3回参加)2人

<出張観望会・出前講座>

	実施日	団体名	参加人数
1	7月30日(火)	古賀市エコの森(出前講座「プラネタリウム工作」)	20人
2	8月1日(木)	山田第2学童保育所(出前講座)	54人
3	8月13日(火)	福岡県マリンスポーツ実行委員会(講座)	30人
4	8月17日(土)	岡垣町公園通り西区子ども会(出張観望会)	40人
5	10月11日(金)	宮若市立山口小学校(出張観望会)	100人
6	11月9日(金)	日の里地区コミュニティ運営協議会(出張観望会)	68人
合計			312人

### 公3「健康増進事業（健康増進施設管理運営事業）」

#### アクアドーム

本年度も、①健康づくり拠点としての機能強化、②一般利用者の増加、③宗像市関連部署との連携強化を念頭に業務に取り組んだ。

アクアドームの年間利用者数は、平成23年度より3年連続の20万人を超え、201,712人（前年比99.0%）と好調を維持している。

温水プールは、年間利用者数134,603人（前年比99.6%）、トレーニングジムは年間利用者数43,039人（前年比96.8%）、スタジオの年間利用者数24,070人（前年比99.0%）となった。

ウェルネスクラブ会員数は、40歳未満の入会者は33人と順調に推移したものの、市内類似施設との競合もあり、総会員数は254人と3人減少した。

また、芝生広場を活用した「グラウンドゴルフ」、調理実習の「男のクッキング」や「おばあちゃんの知恵袋」、休館日を利用した「ドーム体験会」、ウォーキングバスハイク（春・秋）、ランニング練習会、健康づくり課作成のウォーキングマップを活用したイベントを企画し実施した。

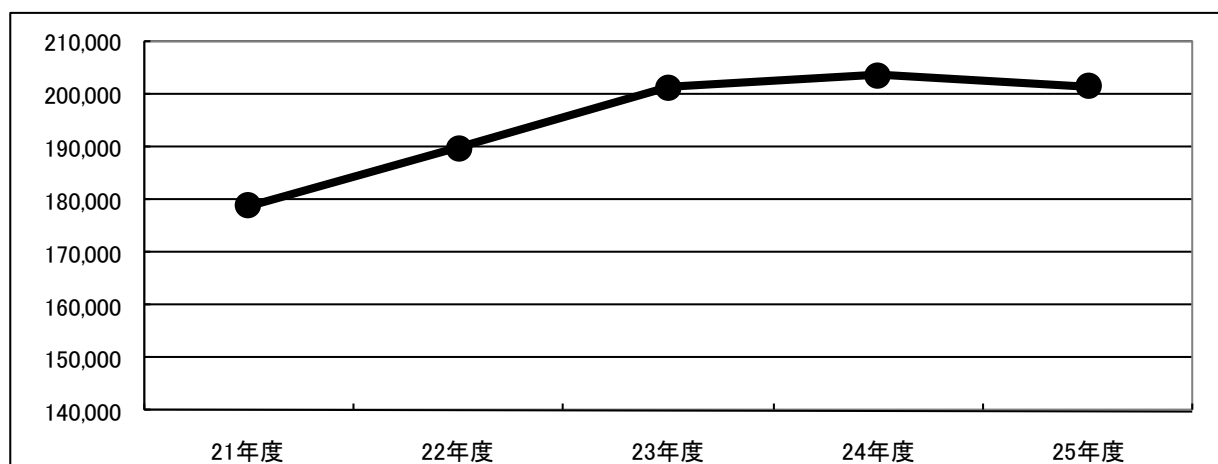
一般利用者の増加については、宗像3大学2高校の優待利用や、広報紙での告知強化などを積極的に行った。

ゆ〜ゆ〜プールも、天候に恵まれ4年連続で5万人を超える利用者が来場した。

宗像市関連部署との連携強化については、健康づくり課と連携した派遣指導業務や特定保健指導、介護予防事業、電話勧奨に取り組んだ。

#### [ アクアドーム利用者数 ]

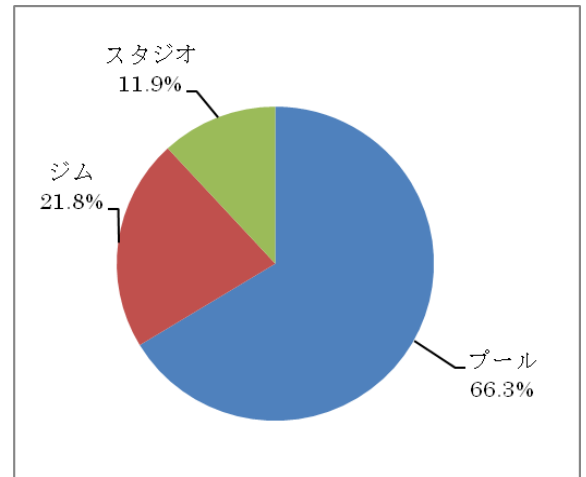
	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
入場者数	178,892	189,953	201,388	203,798	201,712
対前年度比	101.1%	106.2%	106.0%	101.2%	99.0%
対21年度比	-	106.2%	112.6%	113.9%	112.8%



## ■ 施設別利用人数

アクアドーム年間利用者数人のうち、プール利用者は 134,603 人であり、アクアドーム全体の約 66.6%を占めた。

施設別に 24 年度と比較すると、プール利用者数 571 人減 (99.6%)、ジム利用者数 1,406 人減 (96.8%)、スタジオ利用者数 107 人減 (99.0%) であった。その結果、アクアドーム全体では 2,086 人減で 24 年度比 99.0%であった。



## ■ 利用種別状況

利用種別で見ると、プール利用者全体のうち個人・団体・回数券の利用割合は 21.5%、年間券は 38.2%であり、スイミングスクール・ウェルネスクラブ等の主催事業に係る利用は 42,894 人で全体の 31.9%となった。

トレーニングジム利用者の中では、ウェルネス会員の割合が 71.6%を占めた。

スタジオでは、宗像文化サークルを含めた一般利用 5,235 人(21.5%)、教室・レッスン・エアロビクス 19,095 人(78.5%)となった。

## ゆ～ゆ～プール

本年度の営業は、7月6、7日と13、14、15日を先行営業し、通常営業は7月20日より9月1日の計49日間であった。台風で2日営業を中止した(8月31日、9月1日)。

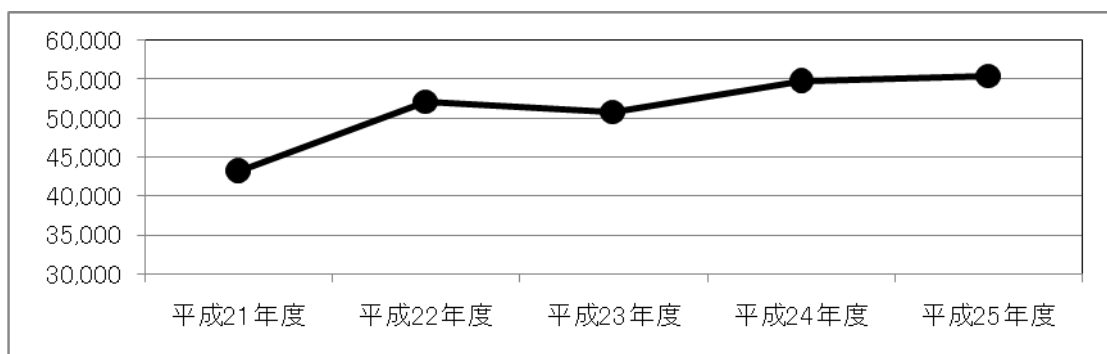
総入場者数は55,477人(1日平均約1,180人)で、前年度の54,772人(営業日数49日間、1日平均1,118人)と比べると705人増(101.3%)であった。

本年も特別企画として平日3時以降の入場料を半額にする「ゆ～涼み割引」を実施した。

ゆ～涼み割引の入場者は9,992人(1日平均212人)、お弁当プラン10団体で利用者は331人、アクアヌードル貸出は428件であった。

(単位:人)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
利用者数	43,194	52,165	50,855	54,772	55,477
対前年度比	99.4%	120.8%	97.5%	107.7%	101.3%
対21年度比	—	120.8%	117.7%	126.8%	128.4%



## パットゴルフ場

本年度利用者数は4,738人で、前年度に比べて749人減少した。減少傾向に歯止めをかける為に、毎週火曜日の「シニアデー」、毎週土曜午前中の「親子ペアデー」の新規企画をスタートさせたがお客様への認知度が低く、現時点では増加につながっていない。26年度は積極的な広報活動による企画の浸透と月例大会開催などでリピーターの育成ははかり、入場者増加傾向へ導く。

[パットゴルフ利用者数]

(単位：人)

	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
利用者数	6,741	5,733	5,578	5,487	4,738
対前年度比	107.4%	85.0%	97.2%	98.4%	86.3%
対21年度比	—	85.0%	82.7%	81.4%	70.2%

## その他屋外施設

多目的広場は、本館で多数の来館が予測されるイベントがあるときはあらかじめ臨時駐車場として確保している。また、平成19年にJR九州ラクビー部と宗像市の協定が締結され、多目的広場がメインの練習会場となっている。その他の利用としては、少年サッカークラブの練習などがある。

芝生広場・サーキットトレーニングコースでは、市内だけでなく近郊の幼稚園・小中学校から遠足などで来園されている。土・日・祝日には家族連れの来園が多い。

パットゴルフ場隣りにあるわんぱく広場は、平日においても幼児を連れた多くの親子連れにとって憩いの場となっている。

プレイ広場では、ラジコンやスケートボードなどの利用がおこなわれている。

## 公3「健康増進事業（健康増進企画・体験事業）」

### 健康づくり事業

利用者に対する健康づくり運動・レクリエーションスポーツ・生涯スポーツの普及に努めた。

健康づくり事業のメイン事業であるユリックスウエルネスクラブとスイミングスクールでは、会員・受講者の健康維持増進・健康支援を行うとともに、会員の獲得・継続・利用促進に力を注いだ。

#### ■ ウエルネスクラブ

健康づくり・体力づくりの推進及び施設利用の促進を目的とした「ユリックスウエルネスクラブ」は、今年度末会員数が254人となり、前年度末の257人に比べて3人減少した。減少の要因は市内のスポーツクラブへの移動が考えられる。

ウエルネスクラブの会員増に向けての施策として、宗像市の特定保健指導・積極的支援アクアドームプログラム、動機付け支援アクアドームプログラムを実施した。

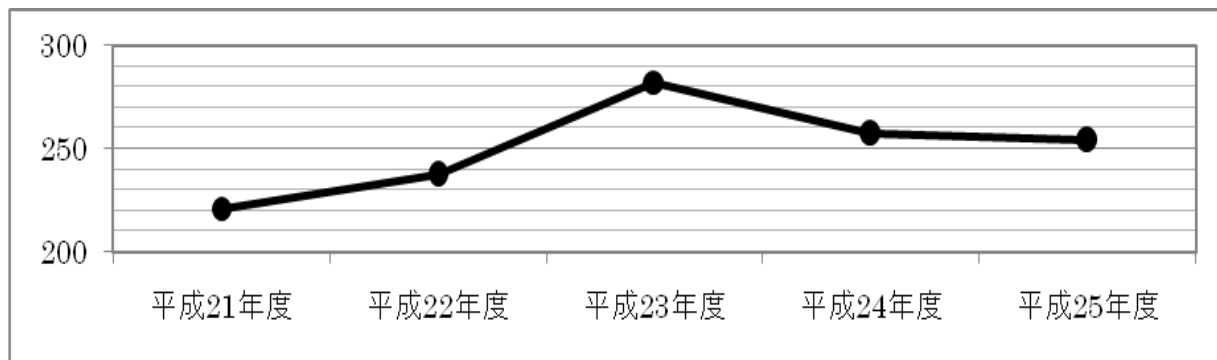
前年度から継続して行い終了した積極的支援対象者は3人であった。本年度の積極的支援初回指導が終了したのは11人、6ヶ月のプログラムが終了したのは3人であった。プログラムが終了していないのは6人で、平成26年度で引き続き積極的支援プログラムを継続する（途中中止が2人）。また、本年度から始まった動機付け支援（1回のみ）の指導は32人であった。

市検診の結果において、支援対象であり結果説明会に参加されなかった人へ電話勧奨を307件行った。特定健診結果相談会における「簡単な講義および運動指導」「アクアドーム積極的支援プログラム紹介」「アクアドームの施設紹介」を行う派遣指導を26件行った。

アクアドームは「指定運動療法施設」に認定されており、ウエルネスクラブの会費が所得税の医療費控除対象になることから、本年度は、4人の会員が医療機関からの運動処方箋に基づいた運動を実施した実施証明書を添えて、還付申請をされた。

（単位：人）

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
ウエルネスクラブ 会員数	221	237	282	257	254
対前年度比	95.7%	107.2%	119.0%	91.1%	98.8%
対21年度比	—	107.2%	127.6%	116.3%	114.9%



## ■ スイミングスクール

ウェルネスクラブと並ぶ健康づくり推進事業のスイミングスクールについては、週1回コースを21クラス、週2回コースを1クラス、3ヵ月を1期として年間3期行った。受講申込者数は1,088人と前年度1,195人に比べ107人（前年比91.1%）減少となった。

利用者の中には10年間受講されている人もあり、今後は利用者の高いレベルに対応できるようにインストラクターの指導力向上に向けた取り組みが重要となってくる。泳法指導以外の「らくらく膝腰運動」や「水中ウォーク」などの教室で、高齢者やプールが苦手な人にも気軽に健康づくりのできる教室展開を図っている。

スクール受講生対象の祝日スタジオレッスン「たま陸運動」～たまに陸上運動も良いですよ～を5回実施し31人参加の参加があった。

夏季ペアペアチャレンジ教室を7月6・20日、8月3・17・31日の計5回、全て土曜日9:00～10:00（1時間）に実施し37人が参加した。スクール（ペアペアチャレンジ）からの参加者がほとんどであった。

夏季限定ウォーク&水中運動・チャレンジアクアを7月3・10・17・24・31日、8月7・21・28日の計8回、全て水曜日11:30～12:30（1時間）に実施し224人が参加した。

夏休み初級水泳教室を定員5人で7月4・11・18・25日、8月1・8・22・29日、計8回、全て木曜日12:00～13:00（1時間）に実施し40人が参加した。3人が2期スクールに継続した。

## ■ スタジオプログラム

エアロビクスは11,984人、前年比107.0%（前年11,202人）、スタジオレッスンは7,111人、前年比98.3%（前年7,232人）、スタジオ合計は24,330人、前年比100.6%（前年24,177人）と人数は153人増加した。

祝日プログラムは4/29（22人）：7/15（22人）：9/23（21人）：11/23（20人）：12/23（24人）：2/11（41人）、計150人が参加した。

ストレッチショートプログラムは、モーニングストレッチ3,357人、ランチストレッチ2,189人、ディナーストレッチ801人の合計6,347人の利用があった。

アクアドームのような総合フィットネス施設におけるエアロ・ダンスプログラムは水泳・ジムトレーニングと同様に人気のある運動プログラムのひとつであり、女性層の取込みには欠かせないため、魅力ある教室を開催していきたい。

### 〔 栄養調理教室 〕

調理実習の「クッキングメイツ」は、年間318人の参加があった。前年の324人に比べ6人減少した。

「クッキングメイツ in 河東コミセン」は、12月13日（金）「野菜たっぷり！クリスマス&おせち料理」を行い、18人の参加であった。

コミュニティセンターでの調理教室「コミュ・クック」は、平成25年8月7日（水）テーマ「元気の秘密を知ろう！沖縄料理」、講義内容は「夏バテ予防に効果的な食事について」で、19人の参加であった。

「男のクッキング」は、定員15人で運動と食事の両面からの健康づくりを考え、調理と栄養に

ついて学ぶ、男性のみの調理実習である。男性の多くは自炊の習慣がなく食事の面からの健康づくりに関心をもっていない人が多いが、自炊で自己の健康管理ができるようになることが必要と考えられるため実施している。参加者は60代～80代である。計4回実施し61人の参加であった。

#### 〔 おばあちゃんの知恵袋 〕

日本古来の食の伝統を若い世代へ伝えることや、食と運動のつながりを伝え、利用促進へとつなげることを目的とした。

第1回：6月25日（火）「蒟蒻作り教室」 24人

第2回：10月2日（水）「ゆず胡椒づくり」 30人

#### 〔 ドーム体験会 〕

運動・栄養の両面からの健康づくりを提供している総合施設ということを地域へアピールするためのもの。※休館日対応

第1回：11月5日（火） 10:00～12:00

参加者10人（男：3人、女：7人）で、クッキングメイツ申込み者2人。

第2回：1月20日（月） 10:00～12:00

参加者10人（男：0人、女：10人）2月開催予定の祝日プログラム申込者3人。

### スポーツイベント

南ゾーン各施設の利用促進とスポーツ・レクリエーションの振興のために各種のイベントを実施した。ほとんどが屋外イベントで天候などに左右されやすいが、中止ではなく延期で対応している。24時間EKIDENや12時間耐久スイムは、アクアドームの利用者を中心としたボランティア団体が大会運営をするなど市民参加型のイベントとして根づいている。

#### 〔 第19回24時間EKIDEN 〕 （4月20日～21日）

実行委員会形式とし、ボランティア団体中心の大会運営となって好評であった。芝生広場の外周（850m）を1チーム（5～30人）で一本のタスキをリレーしながら、24時間（休憩自由）に走った距離を競う大会である。

有料参加は84チーム（1,488人：一般、1,250人 中・高校生、154人 小学生、84人）あり、前年度93チーム（1,908人）より9チーム少なく、参加者420人の減少で開催した。

当日は、義捐金を募るイベントを行い、参加者が一体となり被災地を盛り上げることができた。

大会を通じて、得た義捐金は「東日本大震災ふくしまこども寄付金」に寄付した。

#### 〔 第25回ユリックスカップ・テニストーナメント 〕 （10月20日）

雨天の場合や参加者の負担などを考慮し、予選リーグと決勝トーナメントを1日で開催した。

本大会は72ペアに対し、30ペア（男子Bクラス6ペア、Cクラス6ペア、女子Bクラス10ペア、Cクラス8ペア）、60人で大会を実施した。前年度36ペアであったので6ペア減少した。

#### 〔 第22回12時間耐久スイム 〕 （11月16日～17日）

温水プールの営業時間外の夜間（22:00～10:00）を使い開催している。温水プールが7コース



で35チームしか参加できないという制限はあるものの、九州各地から根強いリピーターが受付初日から申込みのような人気のある大会である。

本年度は33チーム255人であった。前年度は249人で、6人多かった。

アクアドームでもウェルネス会員やスイミングスクールの教室受講生がチームをつくって参加した。日頃のトレーニングの成果を競技とは関係なく、楽しんでいる大会である。

#### [ ウォーキングバスハイク ]

仲間づくりをメインにした健康づくりセミナーと運動の実践そして食事と温泉を利用した休養という新しいタイプのトータル的な健康づくりの提案を行なうことで多くの市民に健康づくりを始めるきっかけとなることを目的とした。

第25回：5月22日（水）目的地：山口県長門市・下関市

参加者37人（男性：7人、女性：30人）

第26回：9月25日（水）目的地：大分県宇佐市・豊前高田市

参加者37人（男性：4人、女性：33人）

#### [ グラウンドゴルフ ]

10月18日（金）、宗像ユリックス芝生広場にて「第3回宗像ユリックスカップグラウンドゴルフ」を開催した。144人定員で募集した。

600円/人とし、144人（男性：88人、女性：56人）の参加があった。

#### [ ウォーキングイベント ]

健康づくり課作成のウォーキングマップの認知度を上げ、ウォーキングの楽しさや効果を知っていただくために行った。

開催日：3月29日（土）9：00～12：30：3月26日（水）を予定していたが天候不良のため、予備日で実施した。

参加費：100円/人※保険料

参加人数：申込者10名（5名不参加）当日5名参加 ※WE会員：1名 ビジター：4名

ルート：歩こうマップVol.3「赤間西地区コミュニティ 宗像三大偉人の一人と住宅地にたたずむ神々を訪ねるコース」

#### [ ランニング練習会 ]

これからランニングを始めようとしている人、ランニング愛好者に対して、音楽を使用したピッチ走法、ランニングのための筋力トレーニング指導及び情報提供を行った。

参加者数は、計143人であった。さつき橋方面への20kmチャレンジランも行った。

## 法人運営「組織・運営体制、財政運営」

### 全般／指定管理業務について

第二期指定管理者として最終年となる本年度は、宗像ユリックス 25 周年・新市制 10 周年の記念事業「宗像ミアーレ音楽祭」を実施するとともに、宗像市総合公園および宗像総合市民センターの指定管理業務も安定して行なうことが出来た。

また、第三期指定管理については、非公募により獲得できた。これは、これまでの財団の実績が高く評価されたものである。今後も宗像ユリックスの管理運営を通じ、宗像市の文化・スポーツ・健康づくりに貢献して行く。

### 運営体制

本年度は、公益財団法人宗像ユリックスとしての初年度であった。組織的には、評議員会・理事会・事務局の体制がスタートした。

事務局人員体制としては、事業部嘱託職員 1 名を専任職員へ昇格させ文化事業の充実を図った。

労働基準法の改正に伴い嘱託・臨時職員の雇用条件が変更となった。今後の組織体制の検討をおこなっていく必要がある。

[職員数]

(単位：人)

	21年度末	22年度末	23年度末	24年度末	25年度末
財団職員	35	36	37	34	34
市派遣	3	2	2	2	2
プロパー	3	4	4	4	4
専任	3	3	3	3	4
嘱託	7	9	8	7	6
臨時	19	18	20	18	18
合計	35	36	37	34	34
対前年度比	100.0%	102.9%	102.8%	91.9%	100.0%
対 21 年度比	-	102.9%	105.7%	97.1%	97.1%

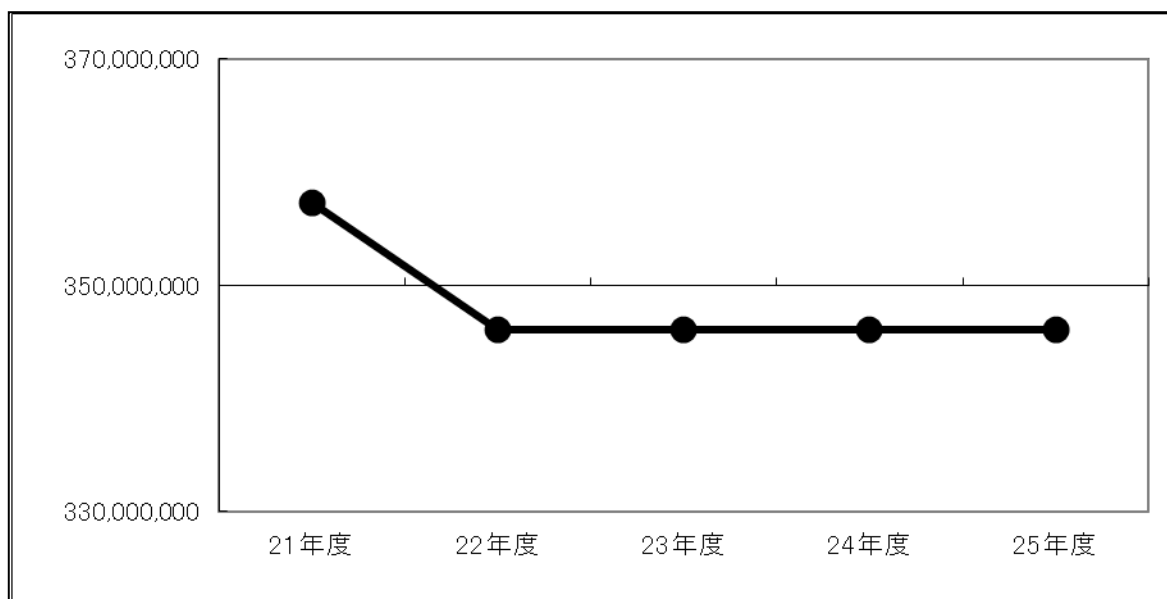
- |              |                             |
|--------------|-----------------------------|
| ・平成 21 年 4 月 | 第 1 期指定管理 (4 年目)、人事評価システム施行 |
| ・平成 22 年 4 月 | 第 2 期指定管理 (1 年目)、指定管理区域分割   |
| ・平成 23 年 4 月 | 第 2 期指定管理 (2 年目)、指定管理区域分割   |
| ・平成 24 年 4 月 | 第 2 期指定管理 (3 年目)、指定管理区域分割   |
| ・平成 25 年 4 月 | 第 2 期指定管理 (4 年目)、指定管理区域分割   |

## 財政運営

本年度は、約1,900万円の赤字決算である。「宗像ミアーレ音楽祭」の実施が大きく影響しているが、その他として燃料費・光熱水費も昨年度決算より約800万円増額している。これについては、まだ上昇の可能性があり注意が必要である。

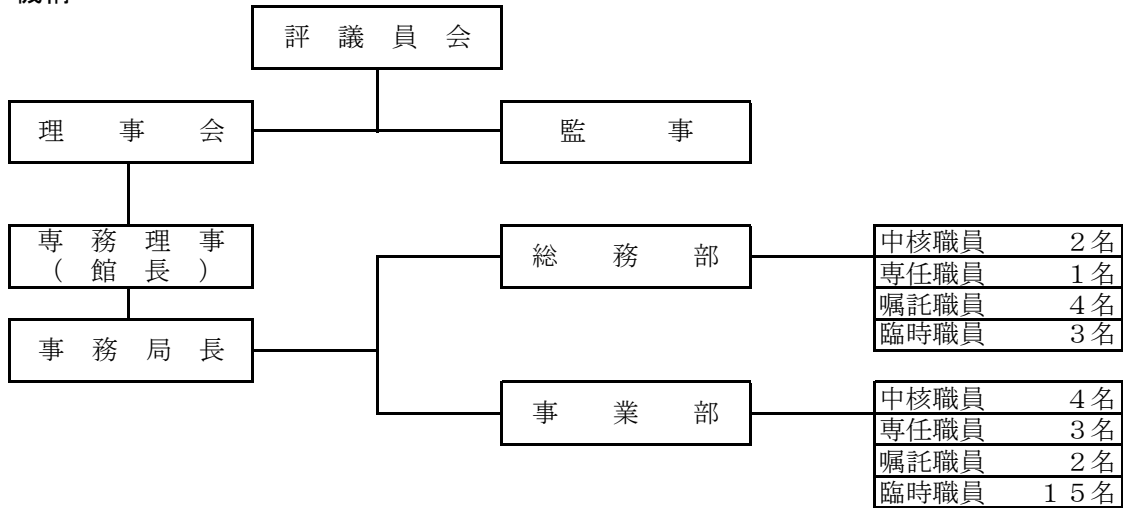
文化事業については、アウトリーチ事業などの財源として、文化庁などの補助金の獲得も重要である。本年度は、ミアーレ音楽祭、アウトリーチ2事業で20,345千円の補助金を得た。今後も獲得に向けた努力を続ける必要がある。

予算ベース	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
管理運営コスト	357,308,000	346,083,000	346,083,000	346,083,000	346,083,000
対21年度削減率	-	96.9%	96.9%	96.9%	96.9%



(平成26年3月31日現在)

### 機構



### 職員体制 (34名)

職名	中核職員	専任職員	嘱託職員	臨時職員
人数	6名	4名	6名	18名

※中核職員には宗像市からの派遣出向職員2名を含む

### 役員の構成

評議員	理事	監事
5名	7名	2名

職名	氏名	職名
評議員	菊川 律子	国立大学法人九州大学理事
評議員	蔵野 八郎	株式会社電気ビル相談役
評議員	寺尾 慎一	国立大学法人福岡教育大学学長
評議員	宮部 武文	宗像市副市長
評議員	山下 恵美子	元宗像市教育委員

理事長	立部 祐道	僧侶 (鎮国寺名誉住職)
専務理事	松永 年生	宗像ユリックス館長
理事	福崎 常喜	宗像市市民協働・環境部長
理事	福本 義雄	宗像市社会福祉協議会会長 宗像地区事務組合水道事業運営委員会副会長
理事	大方 優子	九州産業大学商学部准教授
理事	池山 喜美子	元(社)全国消費生活相談員協会理事
理事	森 千鶴子	フリーライター、福岡教育大学非常勤講師

監事	長井 賢祐	元福岡県経営者協会専務理事
監事	井上 均	宗像市経営企画部理事兼財政課長